

## 4. 事業の必要性等【事業の投資効果】 令和3年11月12日時点

### ◆費用対効果の結果

項目		前回評価時点（平成26年度評価）	今回評価時点（R3年度）
目標流量 基準地点：白滝橋		9,500m <sup>3</sup> /s (整備計画目標流量概ね1/40)	9,500m <sup>3</sup> /s (整備計画目標流量概ね1/40)
事業費		約102億円	約155億円
整備内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・河道掘削等</li> <li>・堤防整備（築堤）</li> <li>・堤防整備（浸透・侵食）</li> <li>・内水対策</li> <li>・地震・津波対策</li> <li>・河床低下対策</li> <li>・危機管理対策 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河道掘削等</li> <li>・堤防整備（築堤）</li> <li>・堤防整備（浸透・侵食）</li> <li>・内水対策</li> <li>・地震・津波対策</li> <li>・河床低下対策</li> <li>・危機管理対策 等</li> </ul>
整備期間		平成27年から概ね20年	平成27年から概ね20年
全事業	便益B 億円	398.6 一般資産被害額 : 143.5 (35.9%) 農作物被害 : 0.3 (0.1%) 公共土木施設等被害額 : 243.0 (60.9%) 営業停止損失 : 6.8 (1.7%) 応急対策費用 : 5.0 (1.2%) 残存価値 : 0.8 (0.2%)	1,520.4 一般資産被害額 : 779.0 (51.2%) 農作物被害 : 2.8 (0.2%) 公共土木施設等被害額 : 602.4 (39.6%) 営業停止損失 : 67.8 (4.5%) 応急対策費用 : 65.8 (4.3%) 残存価値 : 2.6 (0.2%)
	費用C 億円	71	136
	B/C	5.6	11.2
残事業	便益B 億円	398.6 一般資産被害額 : 143.5 (35.9%) 農作物被害 : 0.3 (0.1%) 公共土木施設等被害額 : 243.0 (60.9%) 営業停止損失 : 6.8 (1.7%) 応急対策費用 : 5.0 (1.2%) 残存価値 : 0.8 (0.2%)	1,229.1 一般資産被害額 : 627.4 (51.1%) 農作物被害 : 2.6 (0.2%) 公共土木施設等被害額 : 489.0 (39.8%) 営業停止損失 : 57.0 (4.6%) 応急対策費用 : 51.4 (4.2%) 残存価値 : 1.7 (0.1%)
	費用C 億円	71	74
	B/C	5.6	16.6

## 4. 事業の必要性等【事業の投資効果】 令和4年3月8日時点

### ◆費用対効果の結果

項目		前回評価時点（平成26年度評価）	今回評価時点（R3年度）
目標流量 基準地点：白滝橋		9,500m <sup>3</sup> /s (整備計画目標流量概ね1/40)	9,500m <sup>3</sup> /s (整備計画目標流量概ね1/40)
事業費		約102億円	約155億円
整備内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・河道掘削等</li> <li>・堤防整備（築堤）</li> <li>・堤防整備（浸透・侵食）</li> <li>・内水対策</li> <li>・地震・津波対策</li> <li>・河床低下対策</li> <li>・危機管理対策 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河道掘削等</li> <li>・堤防整備（築堤）</li> <li>・堤防整備（浸透・侵食）</li> <li>・内水対策</li> <li>・地震・津波対策</li> <li>・河床低下対策</li> <li>・危機管理対策 等</li> </ul>
整備期間		平成27年から概ね20年	平成27年から概ね20年
全事業	便益B 億円	398.6 一般資産被害額 : 143.5 (35.9%) 農作物被害 : 0.3 (0.1%) 公共土木施設等被害額 : 243.0 (60.9%) 営業停止損失 : 6.8 (1.7%) 応急対策費用 : 5.0 (1.2%) 残存価値 : 0.8 (0.2%)	1,512.3 一般資産被害額 : 774.6 (51.2%) 農作物被害 : 2.4 (0.2%) 公共土木施設等被害額 : 599.1 (39.6%) 営業停止損失 : 67.8 (4.5%) 応急対策費用 : 65.8 (4.3%) 残存価値 : 2.6 (0.2%)
	費用C 億円	71	136
	B/C	5.6	11.1
残事業	便益B 億円	398.6 一般資産被害額 : 143.5 (35.9%) 農作物被害 : 0.3 (0.1%) 公共土木施設等被害額 : 243.0 (60.9%) 営業停止損失 : 6.8 (1.7%) 応急対策費用 : 5.0 (1.2%) 残存価値 : 0.8 (0.2%)	1,222.9 一般資産被害額 : 624.2 (51.0%) 農作物被害 : 2.3 (0.2%) 公共土木施設等被害額 : 486.6 (39.8%) 営業停止損失 : 56.8 (4.6%) 応急対策費用 : 51.3 (4.2%) 残存価値 : 1.7 (0.1%)
	費用C 億円	71	74
	B/C	5.6	16.5

## 6. 事業の進捗見込み（河川整備計画の内容）

令和3年11月12日時点

当面実施する整備の費用対効果

項目	当面実施する整備
便益（ $B_1$ ）	969.2億円
残存価値（ $B_2$ ）	1.9億円
総便益（ $B_1+B_2$ ）	971.1億円
建設費（ $C_1$ ）	43.3億円
維持管理費（ $C_2$ ）	1.2億円
総事業費（ $C_1+C_2$ ）	44.5億円
費用便益比	21.9

## 6. 事業の進捗見込み（河川整備計画の内容）

令和4年3月8日時点

当面実施する整備の費用対効果

項目	当面実施する整備
便益（ $B_1$ ）	964.4億円
残存価値（ $B_2$ ）	1.9億円
総便益（ $B_1+B_2$ ）	966.3億円
建設費（ $C_1$ ）	43.3億円
維持管理費（ $C_2$ ）	1.2億円
総事業費（ $C_1+C_2$ ）	44.5億円
費用便益比	21.7